

令和5年第12回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和5年12月21日(木)
開 会 14時53分
閉 会 16時18分
場 所 横田庁舎 2階 第1会議室
出席委員 谷尻教育委員 荒金教育委員 松崎教育委員

委員会事務局 高尾課長、江角課長代理

教育長

町内の学校でもインフルエンザが流行しており、今週のところで布勢小学校、八川小学校が学校閉鎖をしています。また、これまでも横田中学校、横田小学校でも学校閉鎖などがあり、町内でもインフルエンザがかなり蔓延しています。学校側も細心の注意を払って運営をしてくれていますが、ウイルスは目に見えませんが、各々でも感染対策をしていただきたいと思います。

早速ですが、レジメに従って報告していきたいと思います。

・人事異動作業について

令和5年度の人事異動作業が本格的に始まりました。12月15日に奥出雲町教育委員会から出雲教育事務所へ下記の書類を提出しました。

- ・各校長先生方から異動などに関する要望書
- ・各教職員からの希望などの異動調書
- ・永年勤続解消計画

連続した同一学校での勤務期間は3年以上7年以下、連続した同市町村での1回の勤務期間は15年というルールに則った計画

- ・各教職員からの管内の別市町村への異動希望調査
- ・令和5年度末の退職者調査

奥出雲町では、2名の退職が予定されており、1名は、定年退職、もう1名は、ご結婚を機に退職される予定です。

今後、人数が増減すると思いますが、現時点でこのような書類を提出したということをご承知おきをお願いします。

・令和5年度末教職員人事異動について

出雲教育事務所から発行された「管内の教育」を資料として配布させてもらっています。これには、人事異動に関するルールが記載されているため、皆さんにご紹介したいと思います。

・人事異動方針の概要。

要約すると、人事異動ルールは、島根県内の教育を均一に高めていくという方針の

もと、定めたルールだと説明されています。

・人事異動ルール。

事務職員の説明は、省略します。教員は、決まった年齢までに他地域勤務を4年、へき地学校勤務を4年経験する必要があるとあり、合わせて生活基盤を置く本拠地勤務を6年経験する必要があります。そのため、永年勤続の解消などのルールに従って勤務した場合、早くて45歳ごろ、多くの教職員は50歳前後でのクリアになると思います。そのため、退職までの約10年間はある程度、各々の教職員の希望通りに動けると思います。しかし、今後、定年退職の年齢が延びていきますと、このルールがさらに難しくなっていくと思われれます。

・学校再編に伴う人事異動について

各校長先生方から学校再編に伴う人事異動によって、教職員が人事異動のルールで不利にならないようにと要望がありました。先日、県の教育委員会の人事異動に関する会に出席した際、この件についてお話をしましたが、不利益を被らないようにするとはつきりとおっしゃっていました。この返答は、校長会などで周知したいと思っています。

・12月議会定例会での教育関係の一般質問

・町内中学校におけるエアコンの設置状況について。

現在、音楽室などの特別教室にエアコンが設置されていないため、エアコンが設置されている他の教室へ楽器を持って移動するなど影響が出ています。そのため、学校側からも重点要望として要望があがってきています。そのため、現在、学校再編に伴い解体予定の三成小学校のランチルームからエアコンを3つ取り外し、横田中学校へ2つ、仁多中学校へ1つ取り付ける予定にしています。スペック的には特別教室でも十分に使えるものだと聞いています。それ以外のエアコンの取り付けについては、各中学校から10個ずつ程度希望をとり、年次計画でやっていく予定にしています。

・特別な支援を要する子どもたちの学びの場への通学支援・移動サービスの助成について。

これは、住民要望があったものです。具体的には、松江などの県立学校への送迎について奥出雲町からバスを出して欲しいとの要望がありました。教育委員会は、1月の中旬あたりに対象の15名へアンケートを行い、ニーズを把握したうえで対応することを考えています。

・小学校統合による登下校時の安全問題について。

このテーマはあらゆるところで取り上げられますが、奥出雲交通や政策企画課、教育委員会、そして、町の安全対策協議会、通学路安全推進協議会などと協議をし、安全問題について考えていくと回答をしました。

・ AED の取り扱い訓練について。

プールシーズンだけではなく、年間を通じて訓練をしてほしいと議員さんから要望がありました。そのような要望が出たことを学校側へ伝えたいと考えています。

・ 空き校舎の利活用について。

町としては、公共施設としての利活用を優先に考えており、教育施設以外の利活用方法もあると想定しているため、現在、政策企画課が中心となって利活用方法を考えていると回答をしました。

・ 子ども議会について。

議員さんが山形県遊佐町へ視察研修に行った際、その地域で 20 年近く続けられている子ども議会に対して感慨を受け、奥出雲町にも取り入れて欲しいとの要望がありました。現在、教員の働き方改革やふるさと教育の見直しなど行われているため、その中で合わせて整備をしていきたいと回答をしました。

・ 第 2 回横田地域学校再編統合推進委員会（全体会）について

各部会の進行状況の報告と事務局から大規模改修の概要について説明をしました。今回、校歌の作詞作曲の依頼先と体操服のデザインが議題に上がりました。

校歌の作詞作曲の依頼先として、地元で造詣の深い小川直美先生に作詞作曲をお願いすることになりました。

体操服のデザインについては、横田中学校と同一のデザインになりました。

・ 島根ふるさと教育見直し

ふるさと教育は平成 17 年から始まり、今年で 18 年目になりますが、学習時間を 35 時間から 20 時間に削減すると県の教育委員会から方針が出されました。各校長町先生からは、非常に大切な教育であるため継続していきたいという話を伺っています。これについて、後ほど教育委員の皆さんからお話を伺いたいと思います。

・ 中学校の卒入学のあいさつについて

卒入学式の時間短縮のため、教育委員の皆さんから了承を得ることができれば、町長のみ挨拶をする方向で進めていきたいと思っています。いかがでしょうか。

(賛成の声あり)

それでは、両中学校の卒入学式については、そのような方向で進めていきたいと思っています。小学校は、例年のとおり教育委員の皆様にも参加のお願いをさせていただきたいと思っています。

参加者 3 名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 荒金委員

教育長

本日、議事はございません。4 件ほど報告させていただきます。

事務局

・令和 5 年度補正予算（12 月補正に）について

※資料により説明

教育委員会に関わる大きな補正について説明をさせていただきます。

・小学校教育用図書採択に伴う小学校教師用教科書、指導書の購入。

これは、令和 6 年から令和 9 年の 4 年間使用する教科書が本年度、決定したことに伴った教職員用の教科書、及び赤本、GIGA スクールに伴うデジタル教科書の購入費です。学校再編を控えているため、閉校予定の学校はデジタル教科書を単年度パッケージにするなど、費用を削減しながらも児童らに不利益がないように対応しています。

・三成小学校の解体工事に要する経費。

これは、校舎解体後、すぐに新校舎建設に取り掛かるための前倒し事業です。前倒しを行わない場合、解体工事が 8 月から盆明けくらいから始まり、新校舎の建築工事が間に合わない可能性が大きくなるため、このような対応をしています。

・雲南教育支援センター負担金。

現在、奥出雲町の不登校生徒児童の一部が、雲南市の温泉キャンパスに通っているため、それにかかる費用を計上しています。以前から雲南市に対して国の補助金以外の一般財源の部分だけ負担させて欲しいと交渉しておりましたが、承諾をいただけたため、見込みの費用を計上しています。

・亀嵩小学校教室改修工事。

来年度の複式解消のため、現在、特別支援学級として使っている部分を 2 つに分けるための仕切りを設置する費用です。

・中学校備品整備。

ガット様から教育に使ってほしいと寄付がありました。そのため、内部で協議をした結果、中学校の電子黒板を 6 台購入させていただくことにしました。

・高田幼稚園の解体工事。工事請負費の増額。

アスベスト対策や浄化槽の撤去等が追加されたため増額になりました。更地にしたのち、最終的に所有者へ土地を返すことになっています。

教育長

補正予算について何かご質問等はありませんか。

(特になし)

事務局

・令和6年度当初予算要求について

※資料により説明

これについては、あくまでも現時点で教育委員会が予算要求をしたものです。

・島根リハビリテーション学院に対する補助金。

本年度より町長部局から教育委員会へ各種専修学校の担当が変わったため、昨年と同額を計上しました。これには、特待生の支援、通学補助なども含まれています。

・島根デザイン専門学校に対する補助金。

例年、3名分の補助金を計上していましたが、新しい運営先のマヤ学園より来年度は40名程度の生徒の入学を見込んでいるため、支援の人数を増やして欲しいと要望があったため、リハビリテーション学院と同率程度の8名分の予算を計上しています。

・地域おこし協力隊活動費。

現在、2名の地域おこし協力隊の方がおられますが、1名が卒業、もう1名から辞めたいと希望が出たため、2名分を募集しています。1名の応募があり、明日、面接をする予定にしています。

・幼児期通級事業指導教室事業。

発達が緩やかな園児に対して、個別指導を行い、発達を促すための事業です。外部委託と教育委員会におります、加藤専門員が各園を回って対応するための経費として計上しています。

・小学校執念記念事業等補助金。

閉校行事、150周年行事などに合わせて補助金を出しています。本年度は、鳥上小学校と布勢小学校に対して出しています。他の学校については、申請、または、要望があった時点で補正予算をあげて対応したいと考えています。

・指導主事派遣負担金。

来年度から負担金を現在の4分の1から2分の1に引き上げさせて欲しいと県から要望があったため増額しています。

・奥出雲町教育支援センター事業。

これは新規事業です。現在、奥出雲町内では、不登校気味の生徒さん、児童さんが約20名おられ、そのうち6名が雲南市の温泉キャンパスに申請を出されています。しかし、実際に通っておられるのは、2名なのが現状です。

私どもの仮説ですが、温泉キャンパスが遠方のため通いにくいからではないかと考えております。そのため、奥出雲町版の教育支援センターを設置できたらと考えております。まずは、事業施行という形で週1回程度開設し、ニーズ調査を行う予定にしています。

・特別支援学校通学支援事業。

これも新規事業です。教育長が冒頭で報告しましたが、住民要望があったため、予算を計上しています。1月末までにニーズ調査を行い、最終的な予算を確定したいと思っています。

- ・教育支援センター負担金。
奥出雲町に教育支援センター設置したのちも温泉キャンパスに通いたいという要望が出ると予想しています。その対応のために予算を計上しています。
- ・中学校教育振興交付金。
学校行事やクラブ活動などのバスの補助金が主な用途ですが、昨年度より増額しております。その理由として、国土交通省の指導により、料金の下限ルールが定まったため、バスの借り上げ料金が増額したためです。
- ・理科教育施設事業補助金。
学校の再編統合に伴い、顕微鏡などの備品の購入の重複を減らすために予算を少々減らしています。
- ・派遣社会教育主事。
これも指導主事と同様、負担増のため増額しています。
- ・文化的景観保護推進事業。
たたら角炉伝承館の屋根が傷んでおり、その修繕に予算を計上しています。しかし、昨日行った文化庁とのヒアリングで全国的に要望が多く、国庫から満額出すことができないため、その対策として2か年くらいに分けて修繕するか、修理方法を見直して欲しいと返答がありました。そのため、たたら角炉の屋根全面の修繕が難しいことを報告させていただきます。
- ・学校給食共同調理場設備整備。
衛生面から両調理場のトイレを和式から洋式化するために計上しています。将来的には、学校再編に関わる事業が終わる令和7年以降に調理場を新築し、1つにまとめる必要があると事務局では思っています。

教育長

これは、光熱水費などの恒常的なものは含まれておりません。あくまでも、事業的に大きなものを予算としてあげております。当初予算に要求については、事前に教育委員の皆さんから意見を聴取することになっています。ご質問等がなければこれで予算要求をさせていただきたいと思っております。ご質問等はございますでしょうか。

谷尻委員

たたら角炉の屋根の修繕に費用がとともかかるのですね。

事務局

飛散しにくいものですが、アスベストが含まれているため修繕費が高くなりました。

松崎委員

教育支援センター。フリースクールでしょうか。これは、どこに設置する予定ですか。

事務局

はっきりと場所は決めていませんが、候補の1つとして農村婦人の家が上がっています。理由は、教育委員会と近いため非常時に職員がすぐに駆け付けることができますし、横田コミュニティセンターが近いので大ホールや2階のきらめき学習室などが活用できると想定しているからです。最終的に、多くの子供さんに参加して

	<p>いただけるようでしたら、利便性の良い空き校舎で本格的なフリースクールを運営していくという構想を持っています。</p>
谷尻委員	<p>試行期間は何年程度を想定していますか。</p>
事務局	<p>1年か、2年程度を考えています。学校再編が終わったのち、利便性の良い空き校舎で本格的な開設を考えています。</p>
谷尻委員	<p>奥出雲町に支援センターができるのはうれしいです。支援センターを必要とする子供たちは年々増えていますが、温泉キャンパスまで通うことができない事情のある子どももいると思います。町内にセンターがあれば、そのような子どもたちも通いやすいと思います。</p>
教育長	<p>場所と指導者の確保が大きな問題だと思います。</p>
事務局	<p>定年退職された学校の教員など、そのような方にお声がけをさせていただいて、力になっていただければと考えています。毎日は難しくても週に1日程度なら出ていただける方もいらっしゃるかと考えています。</p> <p>本当は、正規職員が望ましいのですが、会計年度任用職員などが毎日在中し、そのプラスアルファで教職員OBなどが交代で手厚く支援するような形で運営できればと考えています。</p>
谷尻委員	<p>三成に児童館を作ったのは、これをやりたかったからです。とてもうれしいです。</p>
事務局	<p>現在、旧三成幼稚園は、放課後児童クラブで利用していますが、そこをセンターとして使うということも考えられます。今はまだ、いろいろな検討を進めていきたいと考えています。</p>
教育長	<p>他に質問等はありませんか。</p> <p>(特になし)</p>
教育長	<p>・「ふるさと教育」の運営見直しについて ※資料により説明</p> <p>新聞をコピーしたものを資料として配布しております。これは、島根県教育委員会から教員の負担軽減と基礎学力向上のための時間を確保する狙いで、現行、35時間のふるさと教育を20時間に減らす見直し案が県議会に示されたという記事です。これは、令和4年の全国学力テストの小学6年生の算数の基本的な計算問題の県内正答率が全国と比較して非常に低かったため、生活に必要な基礎学力を子供が身につけるための時間を確保してほしいと県知事から教育委員会へ要望をし、教育委員</p>

会内で協議をした結果、このような見直し案を出すに至ったそうです。

当初は、島根県教育委員会教育長が、県内の教育長を全員集めて説明をする予定でしたが、各市町村教育委員会教育長から事前説明がなかったことに対して苦言が出たため、各市町村へ訪問し、説明することになりました。奥出雲町への説明は、来週の火曜日を予定しています。

この見直し案には賛否両論あり、出雲市では、従来通り 35 時間を確保していくと教育長が明言しています。奥出雲町の今後の方針ですが、各学校長から今の生活科や総合的な学習の時間、教科の中でふるさと教育を行っており、学校ごとに創意工夫をしながら進めて行けば、現行のふるさと教育を続けて行けるのではないかと話を聞いています。そのため、時間を明確に示さず、20 時間以上という枠の中で培ってきた経験と、創意工夫でふるさと教育を進めて行って欲しいと考えています。

今までは、ふるさと教育 35 時間に対して各学年 7 万円ずつ補助が出ていましたが、現在のところ減らすことなく続けていきたいと島根県教育委員会は言っています。

しかし、一部から支給される金額がだんだん減ってくるのではないかという懸念の声も出ています。いずれにしても、奥出雲町では、ふるさと教育、キャリア教育、学力育成の 3 本の柱が揺らぐことなく進めていきたいと考えています。

谷尻委員

ふるさと教育の見直しの記事を見たとき、奥出雲町の 3 本の柱が揺らいでしまうかもしれないとショックを受けました。ふるさと教育の時間を減らす理由が私にはわかりません。奥出雲町でしかできない体験を子供たちにさせるために先生たちには、ぜひ頑張ってもらいたいと思っています。子供たちは、頭で考えるより体を使った体験の方が、知恵として力として身につくのではないかと思います。

教育長

各学校長のお話では、ふるさと教育の見直しについてあまり心配している様子はありませんでした。しかし、谷尻委員がおっしゃるように 3 本の柱が揺らぐことがあってはいけません。毎年、新規の教職員と継続の教職員に対して 6 月ごろに担当者からふるさと教育の説明をしています。また、学校再編に際して、統合後の学校で行うふるさと教育のリストを作成している最中です。それには、体験の目的、どの学年でどの体験をするか、町内の誰に依頼するべきかなどの詳細を記載することです。

谷尻委員

たたら体験、地域の人と一緒に田植えや稲刈りなど、これだけで奥出雲町の子どもだと感じます。ふるさと教育の見直しが出された時、何を考えてこれを出したのだろうと思わず思ってしまった。

・教職員の働き方改革「共同メッセージ」について

※資料により説明

教育長

教職員の働き方改革について理解と協力を求めるメッセージを県内の教育委員会教育長が共同で出すことになっています。今後、山陰中央新報などに載せて、発信

していくことになろうかと思えます。ご承知おきをお願いします。

事務局

- ・その他
- ・各小学校の卒業式について

例年のとおり、2月の定例会でどの学校の式に誰が参加するか相談させていただきたいと思えます。

事務局

- ・鳥上小学校の閉校式について

3月23日土曜日に鳥上小学校の閉校式が予定されています。改めてご案内しますので、お忙しいと思えますが、ご参加いただければと思えます。

事務局

- ・2月の定例会について

人事異動関連のため、10日ごろに開催予定です。

< 次回定例会は1月17日（水）午後 15時00分より（予定） >

会 議 録 署 名

署名委員

荒金 勇吉

教育長

川本 健二